

# 週刊 循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

10月5日 No.1507

—2020年(令和2年)—

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年8月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 22,900円+税  
(定価) 1部本体 495円+税



## 東京電力の2020年度電力供給計画

### 火力を中心に燃料活用 再生電力も



22年度計画の火力発電所の空撮

東京電力ホールディングス(東電)は、2020年度の電力供給計画を発表した。火力発電を中心に、再生エネルギーの活用も進めるとしている。

再生エネルギーは、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電など。再生エネルギーの活用は、環境負荷の低減と、電力供給の安定化に貢献するとしている。

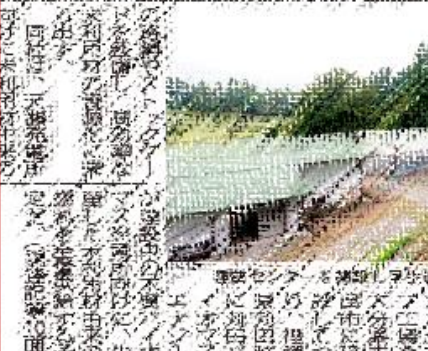
火力発電は、主力電源として、安定した電力供給を確保するとしている。また、燃料の調達も安定化を図るとしている。

## 厚木樹の種苗センターを建設

厚木樹の種苗センターは、厚木市に建設される。このセンターは、樹木の種苗の生産・販売を行うための施設として、重要な役割を果たすことが期待されている。

厚木樹は、環境美化や緑化の推進に貢献している。このセンターの建設により、厚木市の緑化がさらに進められることが期待されている。

また、このセンターは、樹木の種苗の生産・販売だけでなく、樹木の管理に関する技術の普及にも貢献するとしている。



厚木樹の種苗センターの建設は、厚木市の緑化に大きく貢献する。このセンターは、樹木の種苗の生産・販売だけでなく、樹木の管理に関する技術の普及にも貢献するとしている。

また、このセンターは、樹木の種苗の生産・販売だけでなく、樹木の管理に関する技術の普及にも貢献するとしている。

## 省エネホールディングス/新東京グループ 環境施設の省力化を促進 新東京G代表の出資受入

省エネホールディングス(省エネ)は、新東京グループの代表として、環境施設の省力化を促進するための出資受入を行っている。

省エネは、環境施設の省力化を促進するための出資受入を行っている。この出資受入は、環境施設の省力化を促進するための重要な役割を果たすことが期待されている。

また、この出資受入は、環境施設の省力化を促進するための重要な役割を果たすことが期待されている。

## 九州エリア特集 9〜16面

品名	単価	数量	金額
1000000	1000000	1000000	1000000000000
2000000	2000000	2000000	2000000000000
3000000	3000000	3000000	3000000000000
4000000	4000000	4000000	4000000000000
5000000	5000000	5000000	5000000000000
6000000	6000000	6000000	6000000000000
7000000	7000000	7000000	7000000000000
8000000	8000000	8000000	8000000000000
9000000	9000000	9000000	9000000000000
10000000	10000000	10000000	10000000000000